

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型放課後等デイサービス かぐらきっずK A I ジュニア		
○保護者評価実施期間	令和7年 3月 1日		～ 令和8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20名	(回答者数) 13名
○従業者評価実施期間	令和7年 3月 1日		～ 令和8年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 31日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ボルダリングや雲梯などの運動器具がある。	自重を使う体を使った遊びを用いて、手足の機能の促進を図っている。	体の使い方や機能向上の方法を、一層深め取り組む。
2	支援室が明るくて広い	明るく開放的な広がりを作り、たくさん動くことで力の発散が出来る遊びを提供している。	集団活動において必要な事を理解出来る様、むやみに動くのではなくルールに沿った楽しみ方を提示していく。
3	職員が女性だけである。	母親に対して寄り添う姿勢を意識している。	話しやすい関係を構築していき保護者との面談を増やす。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	運動器具に対して能力の低い児童が出来ない事が露呈しやすい。	簡単に出来るように見えるが、やってみるとできない場合がある。	マンツーマン指導、機具の使い方のレクチャーが必要
2	広い支援室で死角が多い	フロア全体を見渡すことが不可能な間取り	目の届かない場所があることを意識し、児童の動きを常に確認する。
3	保護者同士の交流の機会	イベント情報の発信力の弱さ	支援者の積極的な関わり、SNSを通じた発信